

岡山市第七次総合計画の長期構想及び前期中期計画の素案 に対するご意見募集（パブリックコメント）の結果について

1 意見募集の概要

（１）意見募集期間

令和７年１１月２２日（土）～令和７年１２月２１日（日）

（２）閲覧場所

- ・政策企画課、情報公開室、各区役所、各支所、各地域センター、各公民館、各ふれあいセンター
- ・本市ホームページ

（３）意見提出方法

本市ホームページ入力フォーム、電子メール、ファクシミリ、郵送又は持参

（４）意見提出先

岡山市政策局政策部政策企画課

2 意見募集の結果

（１）意見数 ５２

<内訳>

区分	意見項目数
計画全体	４
長期構想	３
総論	２
分野別計画	４３
区別計画	０
合計	５２

【パブリックコメント】意見の概要と意見に対する市の考え方

No	該当箇所	政策	意見の概要	意見に対する市の考え方
計画全体（意見項目数：4）				
1	計画全体		市が目指す将来都市像 わくわくする桃太郎のまち岡山 マンションなど建物は増えるばかり、子供は減るばかりであり、人口減少だからと外国人を増やすのは恐怖しありません。岡山は新幹線の利便性が良く地震が少なく安心安全な住みやすい県であり、古い歴史、立派な庭園や城がありますが、華がない。桃太郎ばかりも幼稚な気がします。若い人、子供が喜ぶような政策に期待します。	岡山市は交通の利便性や災害が少なく豊かな自然環境など住みやすさに一定の評価を得ており、暮らしやすさが強みとなる一方で、賑わいや魅力、わくわく感が不足しているという指摘もあります。このため、岡山市のさらなる成長に向けて、生活する場所と楽しむ場所との調和を大切にしながら、暮らしの質とまちの活力をさらに向上させるとともに、楽しさ・わくわく感をさらに高め、岡山市を一層住みやすく、人の心が自然と弾む、より良いまちへと進化させ、若者・女性にも選ばれるまちをめざしてまいります。
2	計画全体		お金をかけるところをよく吟味して、長期計画的に戦略をつくるべき。生産性の少ないところは最低限に。目の前のごまかしばかりでは効率も悪くツケが膨らむだけ。	岡山市第七次総合計画前期中期計画は、長期的な視点をもって計画的なまちづくりを進めるために、現状と時代潮流を踏まえて将来像を描き、そのための成果指標を各政策で設定しています。その上で、PDCAサイクルの考えに基づいた進行管理を行うこととしており、各施策のもとで実施する取組の達成状況を勘案しながら、見直しや重点化を図り、予算編成に反映することで計画を着実に推進してまいります。
3	計画全体		大きなことばかりやわかりやすいウケで名前を売ろうとするのではなく、役所にしかできない地チカラを高めることをするべき。着実に力を付けていかなければジリ貧は当たり前。	岡山市は現行の第六次総合計画に基づき、喫緊の課題であった保育の待機児童の解消をはじめとした子育て環境の充実やまちの活力創出、地域振興、健康・福祉や安全・安心の充実など、あらゆる分野で直面する課題の一つひとつを克服してまいりました。市政の課題がますます複雑化・多様化する中、さらなる成長に向けて、交通の至便性や多様で豊かな地域資源等の岡山市の強み・特性を最大限にいかしながら、着実に取組を推進し、都市の総合力を一層高めてまいります。
4	計画全体		全体的に素敵な政策・施策だと思います。ぜひ達成に向けて進めていただければと思います。 ただ個人的に感じるのは、たとえ10年間だとしても施策が多すぎるかなと思います。もちろん全て達成するのが理想なのですが、やはり効率的に進めていくのはある程度優先順位を決めておく良いと思います。 よければ何かしらの方法で市民にアンケート調査を行って、それぞれの施策に市民がどの程度関心を持っているのかというのを調べてみるのも良いと感じます。	総合計画は将来都市像の実現に向け、政策・施策の体系を明らかにし具体的な施策展開の方向性を示すものであり、岡山市の都市づくりを総合的・計画的に推進していくための指針となるものです。 岡山市では、2年に1度行っている市民意識調査における施策の満足度・優先度も確認しながら施策を推進しているところです。また、総合計画の策定に際しては、ワークショップ等の様々な機会を通じて市民の意見を丁寧に伺い、計画への反映を行ったところであり、今後も全体のバランスを見ながら重点化を図り、将来都市像の実現に向けて計画を着実に推進してまいります。
長期構想（意見項目数：3）				
5	長期構想		人口は増加していたが、ここ最近では減少していて、少子高齢化も悪化している、みたいな趣旨のことが書かれていたと思います。 全く持って個人の感想なのですが、私はそうは思いません。たとえ若者が上京したとしても、なんだかんだいっつがは岡山に戻ってくると思います。なぜなら岡山は住みやすいから。 個人的には無理をして開拓をしなくても、岡山の魅力を知っているひとは必ず戻ってくると思います。むしろ岡山まで都会みたいな未来都市になったら、戻ってこないと思います。	岡山市に住み続けたい、戻ってきたいと思っていたためには、まさに愛着と誇りを持つことが重要な要素の一つだと考えています。そのため、それぞれの地域や岡山のまち全体の特性・個性への理解を深め、互いに共有し、これらを「まちの魅力」として積極的に発信することにより、国内外での認知度を高め、市民の岡山への愛着と誇りの醸成につなげてまいります。また、こどもの頃から岡山の豊かな自然や固有の歴史・文化を学び親しむことにより、地域を知り、地域を大切に思う心を育みます。こうしたまちへの愛着と誇りを高める取組を進めることにより、市民誰もが住み続けたい、人に薦めたい、より誇れるまちの実現を目指してまいります。
6	長期構想		「まちの居心地の良さ、創造性、期待感、高揚感など、多様な要素に溢れる質の高い都市環境づくりを進める必要があります。」 創造性、期待感、高揚感と質の高い都市環境との関連がわかりません。	少子高齢化・人口減少は岡山市を含め地方が抱える大きな課題の一つであり、その要因の一つである若年層の流出への対策が重要となっています。若年層を含め、求めるまちの姿は人によって多種多様であるため、生活の安全性や利便性といった住みやすさはもちろん、誰もがチャレンジできる環境や賑わい、様々な交流・つながりから生み出される新たな魅力や価値等のまちへの期待感・高揚感といった要素をさらに高め、まちの総合力を向上させることにより、生活する場所と楽しむ場所とが調和した、より多くの人には選ばれるまちをめざしてまいりたいと考えています。
7	長期構想		「わくわく感」をさらに高めるまちづくりが、課題認識のどの部分に対応した対策なのかわかりません。アリーナを含む多くのハード事業を推進するために「わくわく感」というキーワードを無理やり出しているのではないのでしょうか。	少子高齢化・人口減少は岡山市を含め地方が抱える大きな課題の一つであり、その要因の一つである若年層の流出の抑制とともに、選ばれるまちをめざすため、住みやすさに一層の磨きをかけるとともに、まちの楽しさを充実させていくことが重要であると考えています。岡山市は住みやすさに高い評価を得ている一方、賑わいや魅力、わくわく感が不足しているという指摘もあります。そのため、魅力と活力に溢れ、誰もが幸せを実感しながら安心して暮らせるより総合力の高いまちをめざすため、アリーナだけではなく、文化や地域の歴史、スタートアップ等の若者のチャレンジを後押しするなど、わくわく感の高まりが重要な要素だと考えています。
前期中期計画 総論（意見項目数：2）				
8	総論		各施策のもとで実施する取組の達成状況の評価ですが、第六次の後期中期計画では、毎年度評価しとあり、そのようにしてこれましたが、この第七次前期中期計画では、「毎年度」という言葉が落ちている。「毎年度」という言葉を入れて、毎年度の進行管理をすべきです。	第七次総合計画前期中期計画においても、各施策のもとで実施する取組の達成状況については、毎年度評価をしていく予定であり、ご意見を踏まえて、前期中期計画の総論、Ⅰ．基本的な枠組みの4．計画の進行管理において「各施策のもとで実施する取組の達成状況を毎年度評価し、……」と記載を追加しています。
9	総論		教育DXでの働き方改革には限界がある。業務が多様化しており、教員の業務は増える一方、そこで、教員の仕事量を減らす内容を盛り込むべき。 特に、学校外で起こったトラブルには主で関わらない姿勢を表明する。子どもに関わる登下校・放課後・休日・児童クラブ等のトラブル、その他学校と関係ない地域の方からの苦情がそれにあたる。「学校との連携」とよく言われるが、学校の比重が大きくなっている現状は改善するべき。それらに対応すると本来業務である授業の支障となる。（子どもがいる時間に聞き取りするため）	教員の負担軽減については、「岡山市立学校園における働き方改革推進方針」に基づき、教育DXを含め、様々な取組を進めているところです。 教員が教員でなければできない業務に専念できるよう、ご指摘も参考にしながら、引き続き、効果的な取組を実施してまいります。
前期中期計画 分野別計画（意見項目数：43）				
10	分野別計画	1	牟佐保育園が空きになるが、児童館の役割を持たせるのはどうか。	牟佐保育園を利用した新たな児童館の開設の予定はありませんが、市内に22の児童館がありますので、しっかりと利用していただけるよう周知に努めてまいります。 なお、使用しなくなった園舎等については、他の行政用途で再活用の可能性がない場合には、売却するのが基本方針となりますが、市有財産の有効な活用が図られるよう努めていきます。
11	分野別計画	1	保育や障害児福祉、介護福祉に携わる方の給料が低すぎる。若者が岡山市に定着して福祉分野で、長く働けるためには、給料アップが必須。岡山市だけでアリーナを作る資本金があるなら、福祉の分野で働く人、障害療育施設の充実をはかる方へ回してほしい。	保育士等については、これまで国において、継続的に職員の処遇改善が図られ、さらに市としても、保育士確保支援事業を実施しており、政策2 施策③にご意見の趣旨を盛り込んでいます。 また、介護・障害福祉サービス等については、国において、職員の処遇改善などに対応するため、臨時的に2026年度の報酬改定が実施される見通しとなったところです。また、障害福祉施設の充実については、施設整備補助を通じて、引き続き事業者への働きかけを行ってまいります。 各分野ともに、いただいたご意見も参考にしながら、引き続き、国に対して処遇改善の要望を行うなど、人材確保につながる働きかけを行ってまいります。
12	分野別計画	1	核家族や、メディア、IT機器の普及によるものか、人間との会話を苦手とする方が増えていると感じる。若者の出会いを支援するなら、対人関係の構築、会話の支援、DV加害者プログラムの受入、加害をしてしまう自覚のある人も受けられるプログラムの導入が必要ではないか。	出会いのひろば事業では、若者の出会いの場の提供だけでなく、マナーや身だしなみ等の魅力アップや、コミュニケーション能力の向上につながるセミナーを実施しています。いただいたご意見も参考にしながら、今後もDVや性暴力・性犯罪の防止に努めるとともに、若者自身が望むライフプランを実現することができるように、支援に取り組んでまいります。

【パブリックコメント】意見の概要と意見に対する市の考え方

No	該当箇所	政策	意見の概要	意見に対する市の考え方
13	分野別計画	1	妊娠や出産でまず関わるのが保健師だが、発達障害に対する知識の薄い方が多い。健診での声かけ、場に応じた発達障害児に対する声かけ対応の仕方というのが分かっていない。研修を受けさせて、保護者の初めての相談相手であることを自覚して、他の相談窓口に早めにつなげてほしい。	いただいたご意見も参考にしながら、引き続き保健師の資質向上に努めています。
14	分野別計画	1	障害福祉施設、質のいい療育施設、児童、放デイ、ショートステイ、レスパイトが牟佐地域にない。空きとなる施設を提供してはどうか。	事業所の用地・施設については、開設される事業者が主体として取得されるものとなります。 なお、市が活用していない市有施設については、他の行政用途で再活用の可能性がない場合には、売却するのが基本方針となりますが、市有財産の有効な活用が図られるように努めています。
15	分野別計画	1	支援を図るのみでなく、例えば障害福祉施設のニーズ待機何%など、保育園の待機のように分かりやすい指標を取り入れて、いつまでに実践するのか具体的な数字を盛り込んでほしい。	障害福祉サービス等に係る目標、必要な見込み及び方策等については、個別計画である「岡山市障害福祉計画・岡山市障害児福祉計画」において定めることとしています。ご指摘いただいた内容も参考にしながら、施策の充実に取り組んでまいります。
16	分野別計画	1	「社会的養護の推進」に、第六次後期中期計画にあるように、「社会的養護を受けている子どもの社会的自立に備え、退所前の支援を強化」も入れて行うべきです。	ご意見を踏まえて、社会的養護を受けているこどもの社会的自立について、政策1施策④主な事務事業の記載に「施設や里親等の養育を受けている又は経験したこども・若者の自立に向けた…」と記載を追加しています。
17	分野別計画	1	「子どもの貧困」についての視点がすべてから落ちている。現状と課題、施策の方向性、主な事務事業のすべてに盛り込むべきです。 第六次後期中期計画にあるよう、主な事務事業に「ひとり親家庭支援事業」を入れるべきです。	こどもや家庭が抱える困難や課題は、貧困をはじめ様々な要因が重なり、個別の状況に応じた相談支援の充実が必要ことから、政策1の現状と課題、施策④の方向性と事務事業「こども家庭センターを中心とした相談支援の充実」に、ご意見の趣旨を盛り込んでいます。ひとり親家庭支援についても同様の考え方であり、ご意見を踏まえて、施策④の方向性に「児童虐待、ヤングケアラー、貧困、障害、医療的ケア、いじめ、不登校、日本語の能力が十分でない外国人市民のこども、ひとり親家庭など、様々な要因により…」と記載を追加しています。
18	分野別計画	1	こどもの権利を分野別の冒頭に位置づけたことはかなり思い切ったことだと思うが、素晴らしいこと。このことだけでも明らかに先進的。将来的にはこういう流れになると思う。英断されたことを誇りに思っていたきたい。	政策の順番が優劣を表すものではありませんが、まちづくりを進めるにあたって最も重要なのは言うまでもなく市民である、という認識のもと、人中心のまちづくりを進めていくうえで未来を担うこどもを冒頭に位置づけております。この考えに基づき、こども・若者の権利の周知と意見の聴取にしっかり取り組んでまいります。
19	分野別計画	3	岡山市教育振興基本計画の根っこ、一番大元に、「人権尊重の理念に基づく教育の推進」とあるにもかかわらず、この前期中期計画には、「規範意識や人権尊重の精神に根ざした思いやりの心」としか書いてない。「思いやりの心」は認識違い。そのような人権、人権教育の位置付けは、「岡山市人権教育及び人権啓発に関する基本計画」にはまったくない。してはいけない。 「岡山市人権教育及び人権啓発に関する基本計画」に基づき、人権教育の内容そのものを見直し、根っこのことであるので、現状と課題、施策の方向性、主な事務事業に、人権教育という言葉を入れながら、前期中期計画に位置付けてほしい。	ご意見を踏まえて、政策3の現状と課題を「規範意識や人権尊重の精神に根ざした思いやりの心」から「人権を尊重する態度や規範意識」に修正しています。 また、政策3の施策の方向性の施策④を「思いやりの心、規範意等」から「 <u>自他を尊重する態度</u> 、規範意識等」に修正しています。 人権教育については、政策8「多様性を認め平和を願う人権尊重社会の実現（人権・男女共同参画）」の主な事務事業に位置付けています。
20	分野別計画	3	特支教育は通常級でも、合理的配慮で受けられるものであるということを全教職員が研修を受け、実践してしてほしい。	ご提案のとおり、特別支援教育に対する理解は、全教職員にとって重要な要素であると考えています。令和7年度は、初任者研修講座において「岡山市の特別支援教育（オンデマンド）」「通常学級における特別支援教育（対面）」を行いました。今後も、研修内容を精査しながら、特別支援教育の推進に取り組んでまいります。
21	分野別計画	3	スクールカウンセラー常設か、スクールカウンセラーの訪問頻度を増やせるようにしてほしい。	現在、岡山市立の学校では、スクールカウンセラーは全校に勤務できる体制を構築していますが、常駐の勤務ではありません。スクールカウンセラーの勤務時間については、国に要望するなどして、拡充に努めてまいります。
22	分野別計画	3	「こども基本法」や「岡山市こどもの権利に関する条例」にもとづき、こどもの権利を尊重し、最善の利益を考えて施策を実施すること、そして、こどもの意見表明権を保障し実施することを、教育においても、現状と課題、施策の方向性、主な事務事業に盛り込むべきです。	政策3ではなく政策4にて、現状と課題で「各ステークホルダーからの意見聴取の機会の充実」、方向性で「アンケート以外の形式を含め当事者からの意見聴取を行い」、主な事務事業で「生徒を対象とした参集型の意見表明の場の設定」と記載しており、ご意見の趣旨を盛り込んでいます。
23	分野別計画	3	主な事務事業の施策③の「健やかな体を育む健康・安全教育の推進」に、「生命の安全教育」を盛り込むべきです。そして、施策の方向性のなかにも書くべきです。	生命（いのち）の安全教育は、施策③に限らず、学校において、発達の段階に応じた「生命（いのち）を大切に」「性犯罪・性暴力の加害者にならない、被害者にならない、傍観者にならない」ための教育を実施しています。
24	分野別計画	3	第六次前期中期計画の施策の事務事業のなかには、「ESDに係る地域と連携した取組の推進」があり、「④国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実、②地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD活動の推進、③ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催」とありました。しかしながら、今回の計画のなかには、②が「おかやま未来探求プロジェクトの推進」のなかにあるだけです。①と③についても位置付けるべきです。ユネスコスクールとESD活動はますます重要であると考えます。	各学校においては、主に総合的な学習の時間を中心としてESDにつながる学習活動が行われており、総合的な学習の時間における探究的な学びの充実、ESDの推進にも資するものであると考えています。探究的な学びとESDを相互に関連させながら、共に充実させていくことができるよう、今後、事業内容を見直し・研究する中で、ご指摘いただいた内容を参考にさせていただきます。
25	分野別計画	4	「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が2021年度に公布・施行され、文科省から基本的な指針も出されています。教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等について、政策4になるかと思いますが、・現状と課題、・施策の方向性、・主な事務事業に盛り込むべきです。	教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等については、政策4施策1「学校園の指導体制の充実」に「教職員の力量の継続的な向上を図り、優れた資質能力を備えた教職員を育成」と記載しており、ご意見の趣旨を盛り込んでいます。
26	分野別計画	4	施策②の3つ目の○ですが、「教職員の負担軽減、働き方改革を推進し、デジタル化やDXによる校務の業務改革・改善にも取り組み、」と、働き方改革をメインとし、その一つにデジタル化や教育DXがあると、順番を入れかえて、「にも」とする。	この施策は、政策4「教育を支える基盤整備及び教育DXの推進」に基づいており、教育DXを推進する視点から具体的な内容を記載したものです。 なお、働き方改革は、教育DX推進を含む多様な取組を通じて進めています。
27	分野別計画	5	「図書館相互利用の実施」とあるが、そもそも分かりにくいシステムで浸透しないこと必至。それよりも、止まっている図書館新館計画をすぐさま実施して頂きたい。公民館窓口での図書館利用など、私は近隣の公民館で見かけたことがないしそもそも公民館備え付け図書の利用も全然活用でない。市立図書館は北区に7館、東区に2館、南区に1館あるのに中区には1館もない。実質でいうと、建部・御津・瀬戸・瀬崎は合併で岡山市立となっただけでさらに足守・伊島は特殊な図書館というか従前から市民に馴染みがないので実質は旧市区域でいえば、北区に3館、東区に1館、中区・南区はゼロということになる。かつて全国表彰された図書館先進県なのに、ひどい有様だと思う。せめて、中区に1館、南区のうちいむゆる岡南地域に1館は新館計画を開始してほしい。	いただいたご意見も参考にさせていただきながら、多様な読書環境や資料提供ができるよう、図書館サービスの向上を図ってまいります。

【パブリックコメント】意見の概要と意見に対する市の考え方

No	該当箇所	政策	意見の概要	意見に対する市の考え方
28	分野別計画	5	コミュニティスクールについて、私の小学校区ではほとんど機能していない。計画に記載の現状と課題はズレている。 1. 委員の選考基準が不透明で、参画できない。2. どういった組織なのか周知されていない。年2回の会議の議事録の公表もされないため、存在が知られていない。3. 過去の会議録を見てもレジュメ程度の非常に簡素なもので、学校運営にどう反映されているか不明。以上のことから、存在を周知することと会議録の積極的な公表を今後の目標とするべき。現状だと、委員に払う年間6000円の手当、教員の人件費が無駄になっている。	コミュニティ・スクールは、地域と学校が一体となって子どもたちを育てていくための仕組みで、学校と地域が目標や課題を共有し、解決に向けて協議することを目指しています。いただいたご意見も参考にしながら、引き続きコミュニティ・スクールの周知に努めるとともに、学校HP等を活用した活動内容等の情報発信を推進してまいります。
29	分野別計画	5	コミュニティスクールのフォーラムは無意味。 コミュニティスクール自体が機能していないため。 学校と保護者、地域が協働というが、学校外の問題を学校に押し付けるケースもみられる。役割分担を行い教員の負担を減らすことを主に置くべき。それを保護者に周知し、学区の町内会にも閲覧板で周知する等、公表に力を入れるべき。現状では委員である保護者と地域の方の人数しか情報共有されていない。周知すれば学区には数千人いるため、1000倍単位の効果がある。	コミュニティ・スクールは、地域と学校が一体となって子どもたちを育てていくための仕組みで、学校と地域が目標や課題を共有し、解決に向けて協議することを目指しています。同時に、教員の負担についても考慮すべきであり、教職員の働き方改革に資するコミュニティ・スクールの取組事例の収集及び紹介に取り組みているところです。今後も、教育委員会及び学校からの情報発信に努めてまいります。
30	分野別計画	6	町内会等の団体について、参加したくない人も一定数いることを配慮してほしい。町内会を抜けるとごみステーションの使用が困難となることが課題である。市でごみステーションの設置と管理を行うか、戸別収集を行うかして問題を解決してほしい。	ごみ等の収集については、岡山市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、ステーション方式としています。また、ごみステーションは、岡山市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例により市民が共同で設置・管理することとしています。ご指摘いただいた内容については、参考にさせていただきます。
31	分野別計画	9	フレイル予防についての要望となります。 1. 具体的な施策を盛り込んだ内容にしてほしいと思います。 2. 担当部局は保健福祉局だけでなくもっと多くの部局も加わって施策を立案して欲しいと思います。 (一部要約)	フレイル予防に関する具体的な施策は、個別計画である「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において定めることとしています。いただいたご意見も参考にしながら、フレイル対策に取り組んでまいります。
32	分野別計画	10	民間施設のユニバーサルデザイン化を促進することが書かれていますが、バリアフリー化も含まれているのですか。 バリアフリー化も推進する必要はありませんか。	バリアフリー化については、政策10施策④「公共施設等のユニバーサルデザインの推進」と記載しており、この「ユニバーサルデザインの推進」には、ご意見の趣旨である「バリアフリー化の推進」も含まれています。
33	分野別計画	12	計画全体を通じて、生活が成り立っていることを前提としている。 若者を増やすには生活が成り立つ仕事場が必要。 安定して高い付加価値をつけられる産業だけが、家族の生活を支え若者を呼び込める。 観光業は来客不安定で基盤産業にすべきでない。 岡山市は、県庁の行政・大学・医療・企業本社など第3次産業が8割だが製造業が2割と高い。 若者には工業は安定組織・成長の機会・高く安定した収入得られる産業だ。 岡山には多彩な優秀企業多くさらに育成重点産業と認識し支援してほしい。 仕事場の創出こそ都市の発展を支えるものだ。 産業を失った都市の衰退と、TSMCが来た熊本市の活況こそ参考になる。	岡山市では、製造業、建設業などの第2次産業をはじめとして、市内事業者を対象に生産性向上や省力化等に向けた設備投資支援やデジタル化推進に向けた支援を実施しているところです。いただいたご意見も参考にしながら、市内事業者の事業成長と経営基盤の強化に向け、取り組んでまいります。
34	分野別計画	18	過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合のR12目標値が65%となっていますが、旧計画のR7目標値と同じです。これまでハレノワなど大規模事業を実施しているにも関わらず、この目標値は低すぎると思います。R7の目標値から変わらないのはなぜでしょうか。	ご指摘いただいた目標値の設定についてですが、令和6年度実績は57.5%となっており、現計画の最終年度(令和7年度)の目標値65%の達成が困難な状況です。そのため、達成できなかった要因を分析し、次期計画において改めて目標値65%を設定したうえで、その達成に向けて様々な施策を講じていくこととしています。
35	分野別計画	19	トップチーム支援にアリーナ整備とは規模が大きすぎます。寄付50億といっても、ふるさと納税であれば税金で負担するのと同じです。また、国補助金や起債も国民の税金負担です。民間イベントの利用が主であるなら、民間で整備すべき事業で、税金を投入してはいけないと思います。	アリーナは、地元トップチームの試合に限らず、様々な興行イベントやビジネスイベントなど、「魅せるアリーナ」として、市民・県民に楽しんでもいただけるものであります。また、大きな経済効果をもたらすことで、まちづくり・地域活性化にも寄与するものとして、岡山市にとって必要なものであると判断し、整備を推進しているものです。
36	分野別計画	19	アリーナ建設について 現状計画で、使用者は主に民間団体や企業が想定され、市民利用は考えられていない。 必ずしも建設する必要のない施設に数百億円使う理由が公表されている文書や動画では伝わらない。 スポーツチームのホームアリーナのことは、シゲトアリーナの所有者である県が考えることでは。	アリーナは、地元トップチームの試合に限らず、様々な興行イベントやビジネスイベントなど、「魅せるアリーナ」として、市民・県民に楽しんでもいただけるものであります。また、大きな経済効果をもたらすことで、まちづくり・地域活性化にも寄与するものであり、チームのホームタウンである岡山市として必要なものであると判断し、整備を推進しているものです。
37	分野別計画	19	アリーナ建設について 街の活性化の指標や建設意義だと思われる経済効果についてもっと説明が必要。市民の財布には限りがあり、アリーナ関連の支出をすると他の支出を抑える必要がある。結局、全体で見ると市に入る税金がいくら増える想定なのかきちんと説明がほしい。トータルで活性化するか重要。	アリーナ整備により、岡山県内に20年間で2,800億を超える経済波及効果を見込んでおり、これは建設による効果、維持管理・運営による効果、イベント来場者による効果について、岡山県が提供する「岡山県経済波及効果測定ツール」等を活用し、算出したもので、その他にも雇用の創出等による市税の増収も考えられます。 岡山市財政に与える影響については、市の財政の健全性を判断するにあたって重要な指標である実質公債費比率は、アリーナ整備に伴う起債によって生じる毎年の償還金を3.4億円と想定すると、+0.16%上昇することが予想されますが、岡山市における実質公債比率は、令和5年度決算値で5.6%と、政令市平均6.8%を1.2ポイント下回る水準であり、これまでの取り組みによる指標の改善効果と、今後、アリーナの建設工事が始まるまでに、過去の大規模事業に係る起債償還が終了していく点を踏まえると、この0.16%の上昇は、財政の健全性を確保した上で、他の事業に影響を与えるものではなく、十分吸収できるものと判断しています。
38	分野別計画	19	施策の方向性の「アリーナの整備」については、今の岡山市の在り方では将来的な財政状況への不安が拭えないので、削除してほしい。また、現状と課題での、アリーナに関連する記述も削除してほしい。	岡山市の財政状況については、no.37の回答をご覧ください。 現状と課題については、プロ・アマスポーツの試合会場不足の問題や、トップチームが所属するリーグが求める施設基準への対応が課題となっている現状から、計画へ記載したものです。
39	分野別計画	19	アリーナ整備に関して、市民の合意を得ているとは思えない、この段階で整備ありきの総合計画へ組み込むのはおかしい。	アリーナ整備事業は、これまで市民の代表である市議会と議論を重ね、令和7年11月議会における整備関連予算の議決を経て事業化を決定したことを踏まえ、計画に位置付けたところです。 なお、プロ・アマスポーツの試合会場不足の問題や、プロスポーツリーグの施設基準の変更といった現状を踏まえ、まちの魅力や活力を向上させ、一体感を生み出すとともに、地域への愛着と誇りを生み出すためには必要な事業であると認識しています。 今後は説明会やワークショップなどを積極的に行なってまいります。
40	分野別計画	21	現状と課題の1番目の○の要配慮者の事例に外国人を入れてほしい。	ご意見を踏まえて、政策21の現状と課題における要配慮者の事例を「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針(内閣府)」の記載に合わせ、「高齢者・障害者、乳幼児、妊婦、外国人等」と記載を追加しています。

【パブリックコメント】意見の概要と意見に対する市の考え方

No	該当箇所	政策	意見の概要	意見に対する市の考え方
41	分野別計画	23	西川緑道公園、後楽園、岡山城の植樹に映えスポットが少ないと感じます。もっと桜の木を増やした方が良いと思います。	いただいたご意見については、今後、西川緑道公園における樹木更新や再整備を検討する際の参考とさせていただきます。なお、岡山城は史跡のため、掘削を伴う植樹については文化庁の許可が必要であり、困難と考えますが、引き続き岡山城の魅力向上に努めていきます。
42	分野別計画	25	岡山駅からハレノワまで路面電車を伸ばしてはどうか。清輝橋行きより利用客は増えると思います。	路面電車のハレノワ劇場までの延伸・環状化の計画については、政策25施策①「公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築」に「路面電車のネットワーク化などの基幹的公共交通の強化に取り組みます」と記載しており、ご意見の趣旨を盛り込んでいます。
43	分野別計画	25	活気あるものにするには、まず毎日の慢性的な渋滞を解消しないと何もはじまらない。お金をかけるばかりでなく、工夫すれば流れは変わる。どれだけの経済損失がでているか、毎日必死で働いている現役世代が快適な暮らしからどれだけ遠ざけられているか。	渋滞緩和のため、産業活動と日々の暮らしを支える道路ネットワークの充実・強化を進めるとともに、自動車交通と公共交通との連携強化による公共交通の利用の促進も進めて行くこととしております。上記については、政策16施策①「地域の経済活性化」、政策25施策①「公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築」及び施策④「道路ネットワークの充実・強化」に記載しており、ご意見の趣旨を盛り込んでいます。
44	分野別計画	27	施策①で再生可能エネルギーの活用としているが成果指標の項目に入っていないので太陽光発電、風力発電、バイオマス発電等の項目を設け、それぞれに施設数、CO2削減量などを示してほしい。	成果指標は政策全体の効果を測ることに主眼を置き、分かりやすい指標を設定しています。当該施策は再生エネと省エネを促進することで排出抑制を図るものであることから、政策目標である脱炭素社会の進捗状況を端的に表す「温室効果ガス排出量」を成果指標として設定しています。
45	分野別計画	28	足守地域センターに、ペットボトルキャップの分別回収BOXの設置及び小型家電の回収BOXの設置をして欲しい。北区役所、北ふれあいセンターまで出ないで出せない為、ぜひご検討ください。	ペットボトルキャップについては、プラスチック資源として、ごみステーションへ排出することが可能です。また、小型家電の回収BOXについては、適切な管理が必要であることから、設置場所を限定しています。今後、事業内容を研究する中で、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
46	分野別計画	28	プラスチックゴミについて、ごく簡単に施策に触れられてはいます。先日、海や川に流出したプラごみ問題について学習し、海洋環境に与える影響が深刻であり、ひいてはプラごみを食べた魚を人間が食べる事で人体にも悪影響が及ぶ事がわかりました。プラスチックゴミの削減だけでは岡山市の施策として弱いです。削減に留まらなくて、海洋汚染防止に向けた取り組みも内容に盛り込んでください。	ご意見を踏まえて、政策28施策①の方向性に、「プラスチックごみの海洋への流出を抑制するため、「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づき、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組を推進します。」と記載を追加しています。
47	分野別計画	28	プラスチックの分別回収が始まればらく経ちますが、未だにちゃんと分別できているのか自信が持てません。他にもこういった市民は多いのではないのでしょうか。正しい分別の仕方が定着していくような講座であったり、広報活動等の施策が必要なのではないでしょうか？	ご意見のとおり、ごみの正しい分別を周知することは、ごみの減量化・資源化に寄与するものであると考えています。ごみの分別に関しては、政策28施策①「ごみの減量化とリサイクルの推進」に記載しており、いただいたご意見の趣旨を盛り込んでいます。今後も、あらゆる機会を捉えながら、啓発活動に取り組みまいります。
48	分野別計画	28	また、すでに河川へ流出してしまったゴミへの言及が足りないのではと思いました。そういったゴミを回収する施策は行わないのでしょうか？	ご意見を踏まえて、政策28施策①の方向性に、「プラスチックごみの海洋への流出を抑制するため、「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づき、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組を推進します。」と記載を追加しています。
49	分野別計画	28	施策①でプラスチックごみの削減を推進するとしているが今や陸海空においてマイクロプラスチックの有害性が世界的課題となっている中、市民への啓発、事業者への指導を徹底して行う成果指標を設けてほしい。 例：清掃活動の回数	マイクロプラスチックは様々なプラスチック製品から発生しているといわれており、環境中に流出してしまうと回収が難しいため、その発生抑制・流出対策等が重要であることから、本市においても市民・事業者に向けた周知・啓発を行っています。今後、事業内容を見直し・研究する中で、ご指摘いただいた内容を参考にさせていただきます。
50	分野別計画	28	今回の総合政策案のなかで最も残念なのは環境分野のなかでプラスチックによる海洋汚染の問題認識が弱く、その海洋汚染防止（環境に漏れたプラスチックの海洋への流出防止）にむけた取組が全く書かれていないことが挙げられます。そのため、以下の要望いたします。 ①政策27 について政策28として「プラスチックによる海洋汚染防止を目指した地球に優しいおかやまの実現」を追加。 ②施策の方向性として「海洋へのプラスチックごみの流出防止、環境中に漏れているプラスチックの回収に取組みます」、「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプランを基本に海洋へのプラスチックごみの流出防止と回収をはかります。」、「海ごみゲートキーパーにより市民と一体となったプラスチックごみの海洋への流出防止と回収活動に取組みます。」を記載。 基本政策7（都市と環境）に○プラスチックごみの海洋への流出防止を推進します。を追記。 他、用語解説に新設で加筆された・岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン・海ごみゲートキーパー・プラスチック海洋汚染等の加筆。 （一部要約）	ご意見を踏まえて、政策28施策①の方向性に、「プラスチックごみの海洋への流出を抑制するため、「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づき、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組を推進します。」と記載を追加しています。
51	分野別計画	28	環境省環境白書令和6年概要の第1部の構成、第2章「自然再興・炭素中立・循環経済の統合に向けて」に、「気候変動、生物多様性の損失及び汚染という相互に関係する3つの世界的危機に対し、…」とあります。 この計画を読んで、岡山市は、プラスチック汚染に対する認識が弱いと思うので、政策の項目を一つたてて、「プラスチックによる海洋汚染防止を目指す」を入れてほしいです。 そして、 施策の方向性として 「海洋へのプラスチックごみの流出防止、環境中に漏れているプラスチックの回収に取り組む」とする。 具体的には、 ○「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づいて、海洋へのプラスチックごみの流出防止と回収をはかること。 ○「海ごみゲートキーパー」で、プラスチックごみの海洋への流出防止と回収活動にとりくむこと。 を入れてください。	ご意見を踏まえて、政策28施策①の方向性に、「プラスチックごみの海洋への流出を抑制するため、「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づき、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組を推進します。」と記載を追加しています。
52	分野別計画	30	施策⑤の施策の方向性と主な事務事業 岡山市は新庁舎移転にあわせて、公文書館としての業務を新たに行うので、その内容は書いてあるが、明確に、「公文書館としての業務を新たに行う」ことを明記すべきである。	ご意見を踏まえて、政策30施策⑤の方向性に、「適正な公文書管理や市民が歴史的公文書を活用できる環境の整備により、…」と記載を追加しています。